

自ら机に向かう姿勢を育てる

—学習時間の目安40分～50分—

理解しましょう 小学校3・4年生はこんな時期です

育ちや学びの特徴

- 自立心が芽生え、自分でやろうとすることが多くなりますが、まだ手助けは必要です。
- 好奇心が旺盛で、行動範囲も広がります。
- みんなと行動することを好むとともに、口ごたえや反抗が少しずつ見られるようになります。
- 家族の温かい助言や励ましの言葉が、やる気を起こさせます。

学習内容の特色（学校で）

- 「総合的な学習の時間」や「社会科」「理科」の学習が始まり、学習範囲も大きく広がります。
- 資料集や地図帳、辞典などを使い、調べ学習をすることが多くなります。
- 新しい漢字を、たくさん習います。（3・4年生とも200字ずつ）
- 算数では、分数や小数など、少しずつ抽象的な内容を学び始めます。
- 分数、小数を含め、四則計算（ $+$ ・ $-$ ・ \times ・ \div ）の基礎・基本を徹底して学びます。

家庭学習のつぼ!! 3か条

その1 宿題以外の学習にも挑戦! ~すすんで学ぶ好奇心を~

- 宿題以外の自主的な学習に積極的に取り組ませ、家庭学習のレベルアップを図っていくとよいでしょう。
そのためにも、身のまわりの自然や社会の出来事にも目が向くように働きかけましょう。家事を分担し、進んで行うことも、りっぱな学習です。

その2 テレビやゲームは、時間を決めて! ~家族の協力を~

- テレビやゲームを夢中になって、時間がだらだらと長くなることがあります。けじめをつけさせることが、自律心や学習への集中力を育てることにもなります。根負けせずに、アドバイスし続けましょう。また、親のテレビを見る姿勢も大切です。

その3 ほかの子どもと比べない! ~「がんばり」を本気でほめる~

- 学習に少しずつ個人差が出てくる頃です。友だちや兄弟・姉妹で成長を比べることは避けて、「がんばり」を見逃さずに、本気でほめましょう。

小学校3・4年生の 家庭学習は こんな内容・方法で

○これはできるように

- ・ これまでに学習した漢字の読み書き
- ・ これまでに学習した計算や作図が確実にできるように
- ・ 九九を確実に定着させる
- ・ 教科書がすらすら音読できるように

○こんなことをしてみたら

- ・ 読書 音読 暗唱
- ・ 詩をつくる 有名な詩や俳句などの暗唱
- ・ 漢字練習
- ・ 教科書の問題・ドリル・問題集などをする
- ・ わからないことを図鑑や辞書などで調べる
- ・ 自然（花 虫 ほしなど）の観察をする
- ・ いろいろなもののスケッチをする

国語

- すらすら読み
 - ・ 本を声に出して、すらすら読めるようになりましょう。
 - ・ 「」やてん（、）まる（。）に気をつけて、気持ちをこめて読んでみましょう。
 - ・ 詩やことわざなどを暗唱してみましょう。
- 書きの練習
 - ・ 漢字の読み書きができるように、ノートにくり返し練習しましょう。
 - ・ 字の形、正しい書き順、送りがなに気をつけて、ていねいに書くようにしましょう。
 - ・ 会話文を使って、作文や日記を書きましょう。
 - ・ わからないことは、国語辞典などでしらべましょう。

算数

- 計算の練習
 - ・ 算数（計算）ドリルや教科書の問題を正しくできるように練習しましょう。
 - ・ 筆算は位をそろえて書き、手順を確かめながら計算しましょう。
- ※ はじめは、速さをあまり意識せず、楽しみながら正しく計算ができるようにしましょう。正しく計算ができるようになれば、少しずつスピードを上げて練習するようにしましょう。
- ※ まちがった問題は、必ずもう一度やり直す習慣をつけましょう。正しい計算手順が確実に身につくように、ときには、手順を唱えながら練習してみましょう
- 三角定規や分度器、コンパスを正しく使えるようにしましょう。

その他

- 学校で学習した内容を振り返り、自分の苦手なところや、計算や漢字の練習をしてみましょう。
- 文章題では、問題をよく読んで解く習慣をつけましょう。
- 日記や作文などの書く機会を増やしましょう。
- 社会や理科で学習したことについて、進んでまとめたり、事典や図かんで調べたりしましょう。
- 音楽のリコーダーや鍵盤ハーモニカの学習で習った曲の練習をしましょう。

ご家庭では、こんな援助をしてあげましょう

- 家族のあたたかい助言や励ましの言葉でやる気を起こしたり，宿題や持ち物を点検したりするなどの手助けが必要です。徐々に自分でできるように支援していきましょう。
- 自分から机に向かう姿勢を育て，集中して取り組む習慣を付けさせることが大切です。
- 学習をする前に，学習する場所の整理整頓を行い，自分で今日の宿題を確認させ必ずやりきらせましょう。学校からのお便りなどを親に手渡す習慣を付けましょう。
- 社会や理科で勉強する地域社会の文化や産業，自然などに触れる体験をさせましょう。